

コーパスを利用した複合動詞「一惜しむ」の意味分析

杉 村 泰

1. はじめに

本稿は日本語の複合動詞「一惜しむ」の意味について分析したものである。「一惜しむ」は杉村(2008)で論じた「一渋る」と同様に、動作主が当該の行為を躊躇することを表す表現である。その例を例(1)、(2)に示す。

- (1) 彼は子供の給食費さえ{出し惜しんでいる/出し渋っている}。
- (2) 彼は株券を{売り惜しんでいる/売り渋っている}。

本稿ではこのような「一惜しむ」の前項動詞にいかなる動詞が付きやすいかを見ることにより、「一惜しむ」の意味を探っていく。

2. 先行研究

影山(1993)は語彙的複合動詞(V1+V2)の前項動詞(V1)と後項動詞(V2)の結合について、「他動詞+他動詞、非能格自動詞+非能格自動詞だけでなく、他動詞と非能格自動詞が混在した複合動詞も可能である。他方、(中略)基本的に非対格自動詞は非対格自動詞としか結合しない(p.117)」として「他動性調和の原則」を提唱した。もちろん影山(1993)も「一込む」(押し込む、駆け込む、はまり込む)や「一去る」(葬り去る、走り去る、過ぎ去る)のように「他動性調和の原則」に例外があることは認めている。

一方、松本(1998)は「歩き疲れる」、「泣きぬれる」(非能格自動詞+非対格自動詞)、「読み疲れる」、「飲みつぶれる」(他動詞+非対格自動詞)のように「他動性調和の原則」に反

する例を挙げ、V1+V2 には「主語一致の原則」が働いていることを指摘している。

これらの指摘を受け、筆者はこれまでに「一直す/一直る」、「返す/返る」、「戻す/戻る」、「残す/残る」、「尽くす/尽きる」、「切る」、「忘れる/落とす/漏らす/損じる/損ねる/損なう」、「疲れる/慣れる/飽きる」、「渋る」などの V1+V2 結合について分析してきた。その結果、「他動性調和の原則」はかなりの程度当てはまるものの、「疲れる/慣れる/飽きる」のように適応しにくいものもあること、「主語一致の原則」はほとんどの場合に当てはまるものの、「(日が)照り返す」や「(風邪を)引き直す」のように必ずしもこれに従わない例もあることを指摘した。その結果、そもそも動詞を他動詞、非能格自動詞、非対格自動詞の 3 つに分類することに無理があり、少なくとも他動詞は「切る」や「壊す」のように対象指向的なものと「食べる」や「見る」のように動作主指向的なものとに分けて考えるべきであり、非能格自動詞と非対格自動詞の区別も再検討の必要があることを主張した。

このような研究の一環として杉村(2008)では「渋る」について分析し、次のような用法があることを指摘した。

複合動詞「渋る」の用法

①他動使用法

文型:動作主ガ 対象ヲ ～し渋る

前項動詞:動作主から物や情報が外に流出することを表す動詞が来やすい

(保険会社が保険金を出し渋る、買い渋る、貸し渋る、払い渋る、売り渋る、言い渋る)

意味:動作主が～して対象を自らの外に出すことを躊躇し、出し惜しみすることを表す

②非能格自動詞用法

文型:動作主ガ ～し渋る

前項動詞:動作主が中から外に出ることを表す動詞が来やすい

(彼女は寒いと外に出渋る、行き渋る、乗り渋る、咲き渋る)

意味:動作主が～するのを嫌がって躊躇し、なかなか出ようとしないことを表す

③非対格自動詞用法

文型:主体ハ 対象ガ ～し渋る

前項動詞:「出る」、「(値を)上げる/下げる」

(私は寒くなると尿が出渋る、市場では円が上げ/下げ渋っている)

意味: 対象の滑らかな流出が滞ることを表す(出渋る)、株価や円の値上がり／値下がりか鈍って動きが滞ることを表す(上げ渋る／下げ渋る)

次に、本稿で分析の対象とする「一惜しむ」に目を向けると、本動詞の「惜しむ」は対象をヲ格で表示し、例(3)のように自分の身から物や時間、労力が出て行くのを嫌がることを表す用法と、例(4)のように離別するもの(こと)に対する愛惜や未練の念を表す用法とがあることが分かる。¹

(3) 自分の身から物や時間、労力が出て行くのを嫌がることを表す

{金/コスト/命/名/技術/寸暇/寝る間/手間/協力/努力/骨/労}を惜しむ。

(4) 離別するもの(こと)に対する愛惜や未練の念を表す

{別れ/死/引退/落花/名残/撤退/倒産/過ぎ行く夏}を惜しむ。

一方、複合動詞の「一惜しむ」は先の例(1)、(2)のように「出し惜しむ」、「売り惜しむ」の形で使うのがほとんどで、「寝惜しむ」、「働き惜しむ」、「別れ惜しむ」、「死に惜しむ」などという言い方はあまりしない。以下、「一惜しむ」の V1 にいかなる動詞が来るかを見ることにする。

3. コーパス調査の概要

本稿ではインターネットの WWW ページをコーパスとして利用する。WWW ページについては「不自然な表現が混じる」、「文体差が見にくい」、「データの保存性が悪い」などの批判もある。しかし、「大規模データを検索することにより、普段あまり使わない表現を抽出することができる」、「書き言葉から話し言葉まで日本語の総体をひっくるめて検索できる」、「自然な表現から不自然な表現までどれくらいの頻度で出現するかを見ることができる」などの利点もある。これらの利点は新聞コーパスなどの欠点を補うものである。石川(2009)でも「WWWが日本語の基本語の頻度研究において一定の信頼性と有用性を持つことが実証的に示された(p.36)」と論じられているように、Web 検索は言語研究に極めて有用なツ

¹ 本動詞「惜しむ」の意味については『旺文社国語辞典』(第8版)、『新明解国語辞典』(第4版)、『現代国語例解辞典』(第2版)を参考にした。

ルであると考えられる。以下、本稿で使用したコーパスの概要を記しておく。

① CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』

検索対象: 日本人作家による 67 冊

検索方法: ソフトに付いている検索機能で「惜」、「おし」が付く表現を全て検索し、その中から複合動詞「一惜しむ」を抽出した。

② インターネットの WWW ページ

検索エンジン: goo のフレーズ検索 (<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日: 2009 年 10 月 7 日～2009 年 10 月 25 日

検索方法: 前項動詞(V1)は『日本語基本動詞用法辞典』にある 852 語を含む 1,068 語を対象とし、これと漢字表記の「惜しむ、惜しんだ、惜しまない、惜しまなかった、惜しみます、惜しみました、惜しみません、惜しんで」の共起について検索した。表1にはその合計ヒット数を示してある。(連用形の「一惜しみ」は名詞の「～惜しみ」も多数含まれるため検索対象から外した)

このうち CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』からは、例(5)の「売り惜しみ」や例(6)の「負け惜しみ」のような名詞形は出現するものの、複合動詞の「一惜しむ」は 1 件も出現しなかった。中には例(7)の「嘆き惜しむ」のように V1+V2 の形をしているものもあったが、これは「嘆くのを惜しむ」という意味ではなく、「嘆いて、惜しむ」という並列の意味を表すため、本稿で見る複合動詞からは除外される。このことから、以下に示すように大規模コーパスとしての WWW ページの威力を見てとることができる。

- (5) 「神戸から運んで来る。友達の家がもともと砂糖屋で、売り惜しみして防空壕の中へ沢山山まってあるんや」(井上靖『あすなろ物語』)
- (6) 私はナオミの云うことが空威張りの負け惜しみであるのを知っているながら、故意にそう云って驚いて見せました。(谷崎潤一郎『痴人の愛』)
- (7) あまりな嘆きだ……姿を見たこともないはずの、疎々しい継母を、どうしてこうまで嘆き惜しむのか(田辺聖子『新源氏物語』)

4. Web 検索の結果

今回調査した 1,068 語の動詞のうち「一惜しむ」と1件以上共起したものは 79 語にすぎず、「一渋る」の 131 語と比べても少なかった。また、100 件以上ヒットしたものは「一渋る」では 13 語であったのに対し、「一惜しむ」では 4 語しかなかった。このことから「一惜しむ」は「一渋る」以上に限られた動詞としか結びつかないことが分かる。下の表 1 に「一惜しむ」のヒット数が 3 件以上あったもの 37 語を「一渋る」のヒット数と比較して示す。² 表1を見ると、「一惜しむ」の V1 には他動詞の「出す」、「売る」、「使う」と非対格自動詞の「負ける」が来て、それ以外の動詞はヒット数がぐんと少なくなることが分かる。

表1 「一惜しむ」の V1 に来る動詞上位 37 語 (WWW ページより)

	V1	ヒット数			V1	ヒット数	
		一惜しむ	一渋る			一惜しむ	一渋る
1	出す	4,217	43,168	//	楽しむ	6	0
2	売る	559	1,333	//	寝る	6	0
3	負ける	422	0	23	捨てる	4	6
4	使う	125	130	//	消す	4	2
5	食べる	40	72	//	眺める	4	0
6	買う	38	5,565	//	守る	4	0
7	散る	36	1	27	貸す	3	5,060
8	払う	24	3,321	//	出る	3	479
9	書く	15	155	//	教える	3	30
//	脱ぐ	15	28	//	入れる	3	13
//	見せる	15	15	//	付ける	3	4
12	言う	12	445	//	降る	3	4
//	打つ	12	8	//	見る	3	3
14	切る	9	5	//	走る	3	1
//	暮れる	9	0	//	生きる	3	0
//	待つ	9	0	//	着る	3	0
//	別れる	9	0	//	褒める	3	0
18	残る	8	0				
19	与える	6	4				
//	鳴く	6	2				

² 「一渋る」の検索は 2008 年 9 月 13 日～9 月 17 日に「一惜しむ」と同様の方法で実施した。

5. 「一惜しむ」の特徴

「一惜しむ」は V1 に他動詞の「出す」、「売る」、「使う」が来て、「動作主ガ 対象ヲ ～し惜しむ」の形を取り、「動作主が自分の身から対象が出て行くことを嫌がる」という意味を表すのが典型的な用法である。その例を例(8)～(10)に示す。

(8) 普段は 10 円すら出し惜しむくせに、専門店では平気で大金を注ぎ込む消費体制。

(<http://f1.aaa.livedoor.jp/~yagikun/douzin.htm>) 2009/10/19

(9) 米の値上がりを見込んだ一部の商人は米を買い占め、また小作米を倉に積みこんだ地主たちは米を売り惜しみました。

(<http://homepage1.nifty.com/kakogawa/wakaru/befu.htm>) 2009/10/18

(10) 一方、2005 年度版の環境白書では、『もったいない』とは、単にモノを使い惜しむのではなく、そのモノの持つ本来の値打ちや役割に着目して、無駄にすることなく、それを生かしていくための言葉です」と定義している。

(http://eco.goo.ne.jp/word/recycle/S00234_kaisetsu.html) 2009/10/20

また、「一惜しむ」には V1 に非対格自動詞の「負ける」が来て、「動作主ガ○○と負け惜しむ」の形を取り、「動作主が○○(発言内容)と言って負け惜しみを言う」という意味を表す用法もある。「負け惜しみ」とは自らの負けや失敗を認めたがらないことをいい、「負け惜しみを言う」は自らの負けや失敗を認めずに弁解することを表す。この「負け惜しみを言う」がつまり「負け惜しむ」という表現が作られたと考えられる。Web 検索では「負け惜しみ」が 156,000 件、「負け惜しみを言う」が 6,203 件出現した。³ これに比べて「負け惜しむ」の 422 件は「負け惜しみを言う」の 15 分の 1 の数にとどまっている。その例を例(11)、(12)に示す。

(11) あんなテストで A 取れても自慢にならんよと負け惜しんでみる。

(<http://blog.livedoor.jp/blueheaven26/archives/51265087.html>) 2009/10/24

(12) オレが本気を出せばこんなものじゃない、と負け惜しむ人は変わらないと思います。

(<http://ayutama.blog22.fc2.com/blog-date-200702.html>) 2009/10/24

³ 2009 年 11 月 10 日、goo のフレーズ検索を使用。「言う」は「言う、言った、言わない、言わなかった、言います、言いました、言いません、言って」の 8 つの活用形を検索した。

「一惜しむ」の V1 には「出す」、「売る」、「使う」、「負ける」のほか、「食べる」、「買う」、「散る」、「払う」、「書く」、「脱ぐ」、「見せる」、「言う」なども現れる。しかし、そのヒット数は 50 件以下と少なくなる。その例を例(13)～(20)に示す。これらはいずれも動作主が何らかの対象を自らの外に出すことを躊躇することを表している。このうち例(15)の「散る」は普通無意志自動詞として使われるが、「散り惜しむ」の形で使われると、葉が意志的に散るのをためらうことを表し、意志的な自動詞として機能する。これらはいずれも「出し惜しむ」の延長として考えることができる。

- (13) あんまり可愛くって、食べ惜しんでしたら賞味期限がきてしまったので泣く泣く、パックリいかさせて頂きました☆

(<http://sunitolila.blog52.fc2.com/blog-date-200907.html>) 2009/10/19

- (14) おもに化粧品や香水だが、成田でつい買い惜しんだところ、行き先の免税店では品切れもしくは置いておらず、大落胆！

(http://www.arukikata.co.jp/mail/mail_000033.html) 2009/10/18

- (15) 葉という葉が散り尽くしてわずかに残った葉が散り惜しむかのように細い枝の先に揺れていた。

(<http://blog.goo.ne.jp/oua1125/m/200802>) 2009/10/20

- (16) あのね、税金とはそもそも稼いだ額以上には取られることはないのです。少々の税金を払い惜しんで収入をセーブするなど、主客転倒しています。

(<http://oshiete.quick.co.jp/qa4806940.html>) 2009/10/22

- (17) 頭の中にある物語をすべて表現せずに書き惜しむ・・・

(<http://hachiyoreng.at.webry.info/theme/b3ad5993c5.html>) 2009/10/18

- (18) 今まで大きなちわっかをお見せにいたデルモさんが、何で急に脱ぎ惜しむのかが理解できません。

(<http://www.amazon.co.jp/review/RVXQHEVP3AK3N>) 2009/10/21

- (19) とはいえ、商売柄、桔梗が微笑みを見せ惜しむことはなかった。

(http://blogs.yahoo.co.jp/ozora_masaki/archive/2009/10/18) 2009/10/24

- (20) 第二のプロポーズ、その一言を言い惜しむ夫に、妻は厳しい。

(<http://totome.blog.so-net.ne.jp/archive/c35376665-1>) 2009/10/18

一方、「別れ惜しむ」(9 件)、「寝惜しむ」(6 件)、「死に惜しむ」(1 件)、「遊び惜しむ」(1 件)、「掃き惜しむ」(1 件)、「働き惜しむ」(0 件)、「歌い惜しむ」(0 件)、「結婚し惜しむ」(0 件)は、単に当該の動作をすることを躊躇するだけで、特に動作主から何らかの対象が出るわけではないため使いにくいと考えられる。ただし、数は少ないものの、例(21)～(25)のように「一惜しむ」が V1 の執行を躊躇することを表すのに使われることもある。

- (21) そして、午後六時からホテルニュー種子島 2 階カラヴェルの間にて惜別の会、送別会があり、閉校を別れ惜しみました。

(<http://www.furusato-tanegashima.net/tk/yojotyuu.html>) 2009/10/25

- (22) 妻のお民は、と見ると、まだ娘のような顔をして、寝心地のよい春の暁を寝惜しんでいた。(島崎藤村『夜明け前』、青空文庫)

(http://www.aozora.gr.jp/cards/000158/files/1504_14585.html) 2009/10/21

- (23) 自分の行為に満足して自己完結して死ぬのではなく、死に惜しんでほしい、生への執着を己の中に発見してほしいです…。

(<http://blog.goo.ne.jp/utanekob/e/f315842cf8042bbf4d3ab971b1d77c5e>) 2009/10/18

- (24) でも私には、去り行く 8 月を遊び惜しんでいるように見えました。明日から 9 月か…。

(<http://www.tomikou.net/nikki/2002/08.html>) 2009/10/7

- (25) 掃き惜しむ落葉のいろに山の寺

(<http://ogurin1020.naturum.ne.jp/d2008-11-24.html>) 2009/10/22

6. まとめ

以上、本稿では複合動詞「一惜しむ」の意味について分析した。その結果、「一惜しむ」は V1 に他動詞の「出す」、「売る」、「使う」が来て、「動作主ガ 対象ヲ ～し惜しむ」の形で「動作主が自分の身から対象が出て行くのを嫌がることを表す」のが典型的な用法であることを明らかにした。今後は同じ行為の躊躇を表す複合動詞「一渋る」や「一ためらう」、「一よどむ」、「一控える」、「一迷う」などと比較して、これらの表現との違いを明らかにしていきたいと考えている。

[参考文献]

- 石川慎一郎(2009)「日本語基本語研究における非統制型・統制型・媒介型 Web as Corpus の可能性—言語コーパスにおける基本語頻度の安定性について—」『特定領域研究「日本語コーパス」平成 20 年度公開ワークショップサテライトセッション予稿集』, 文部科学省科学研究費特定領域研究「代表性を有する大規模日本語書き言葉コーパスの構築:21 世紀の日本語研究の基盤整備」統括班
- 影山太郎(1993)『文法と語形成』ひつじ書房
- 小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹(1989)『日本語基本動詞用法辞典』, 大修館書店
- 杉村 泰(2008)「複合動詞「一渋る」の前項動詞の特徴について」『ことばの科学』第 21 号, 名古屋大学言語文化研究会, pp.45-59
- 林 巨樹(1993) (監修)『現代国語例解辞典』(第2版), 小学館
- 松村明・山口明穂・和田利政(編)(1992)『旺文社国語辞典』(第8版), 旺文社
- 松本 曜(1998)「日本語の語彙的複合動詞における動詞の組み合わせ」『言語研究』第 114 号, 日本言語学会, pp.37-82
- 山田忠雄(主幹)(1989)『新明解国語辞典』(第4版), 三省堂

[付記] 本稿は平成 19-21 年度科学研究費助成金(基盤研究(C))(課題番号 19520451)による研究成果の一部である。

杉村 泰